

2017.3.21

会員の皆様、こんにちは。

東京オリンピックのゴルフ会場となる霞ヶ関カンツリー倶楽部が昨日20日、女性を正会員として認めることを理事会で決定しました。男女の差別を禁じた五輪憲章に抵触すると問題視した国際オリンピック委員会の要請に応じた形です。「外圧」がなければなされなかった変更かもしれませんが、とにかく男女差別が解消されたことは「女性の輝く社会」に向けて評価すべき一歩と言えましょう。

今回識者から寄せられた記事は、「女性による創業」がテーマです。とにかく日本人は起業家精神やチャレンジ精神が足りないと言われがちですが、女性のリードによってその傾向が変わるかもしれません。どうぞご一読ください。

石田まさひろ政策研究会

女性による創業が、男性を上回っています！

■ 今年度も女性がグランプリ〜創業スクール選手権

選りすぐりのビジネスプランを選ぶ、中小企業庁が主催の「全国創業スクール選手権」。第3回となる今年も、女性の活躍が目立っています。安倍政権の重要政策である「女性の輝く社会」への第一歩とも言えましょう。

今年度優勝した山内マヤコさんは、京都で国際色豊かなゲストハウスをオープンしています。祖母が経営して

いた築120年の京町家の寮を改装して、外国の人に日本文化を体験してもらいながら、コミュニケーションできるのが特徴です。実は、生まれも育ちも東京の山内さんは、当初、京都へ行くことに戸惑いを覚えていたそうですが、創業スクールを受講するなかで事業計画やアイデアがより明確になったのだそうです。カフェやギャラリースペースを併設し、今後は、芸術家にとっても使いやすい施設にしたいとのこと。



表彰式：松村祥史経済産業副大臣（左）と優勝者の山内マヤコさん

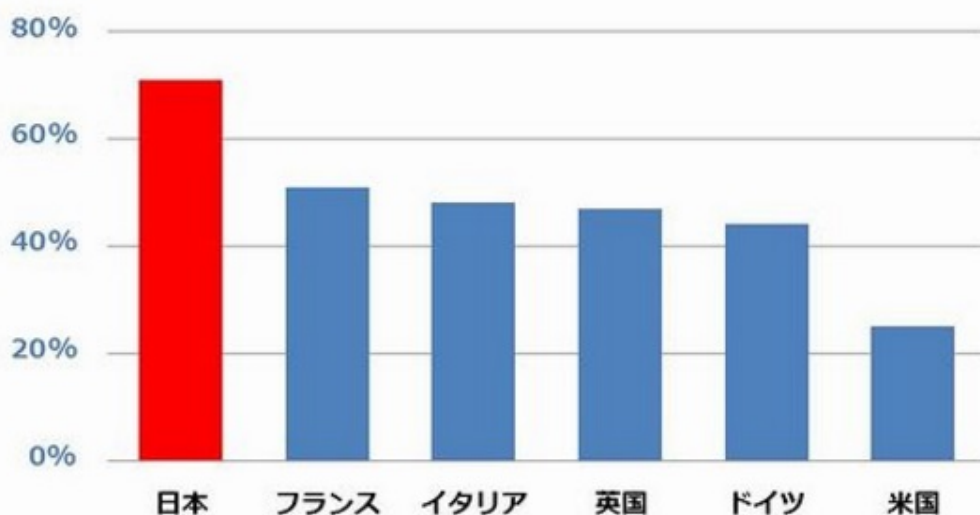
■ 創業スクールの女性比率は52%

この選手権、今年の最終選考に残ったファイナリスト8人のうち、なんと5人が女性でした。そもそも創業スクールでは、女性の受講者が増えており、いまでは52%となって男性の数を上回っているのです。日本全体で見ても、平成12年以降、女性の開業率は上昇しています。平成26年以降、約6,000人が創業スクールで受講しましたが、そのうちの4割が実際に創業しており、地域経済を担う次世代の経営者が着実に増えています。また、創業スクールを運営する事業者も複数に増えることが見込まれており、今後全国で創業したいと考えている人たちの掘り起こしていきます。

■ 国民の「創業」への関心を高めたい

冒頭述べたように「女性の輝く社会」は安倍政権の重要政策ですが、その根底には「1億総活躍社会の実現」というより大きなテーマがあるわけです。であればこそ、男性にも生き生きと活躍してもらう社会でなくてはなりません。残念ながら、「創業に関心のない国民の割合」が主要国の中で最も多いのが日本です（RIETI：経済産業研究所調べ）。創業にリスクはつきものですから、失敗しても再チャレンジする人を応援する仕組みがこれからの課題です。創業支援と再チャレンジ支援、これがコインの裏表となって動き始めるとき、国民の創業への関心がむくむくと湧き上がっていくでしょう。

起業に関心のない国民の割合



（出典）RIETI「起業活動に影響を与える要因の国際比較分析」（2013.3）

池田岩男

Seki-shiN 石心

石田まさひろ政策研究会メールマガジン

vol.005

※本メールは、石田まさひろ政策研究会にご入会いただいた会員の皆様に配信しております。

このメールは送信専用メールアドレスから配信されています。ご意見は info@masahiro-ishida.jp までお寄せください。

【配信停止・設定変更】 本メールサービスの解除を希望する方は、石田まさひろ政策研究会までご連絡ください。

【配信元】 石田まさひろ政策研究会 〒100-0014 東京都千代田区永田町2-1-1

Copyright© Masahiro ISHIDA all Rights Reserved ---掲載記事の無断転載を禁じます---